

もっとさいたまにスポーツを。



Saitama Sport Commission

さいたまスポーツコミッショの サステナビリティビジョン

さいたまスポーツコミッショは、スポーツ資源や特徴ある観光資源を活用し、各種競技大会等スポーツ関連イベントの誘致等の事業を通じて、地域スポーツの振興と地域経済の活性化に取り組んでいます。これらの活動を通じて、スポーツの持つ力を活かし、持続可能な社会の実現を目指します。



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

さいたまスポーツコミッショは、さいたま市、会員の皆様に支えられて活動をしています。



さいたまスポーツコミッショ

Vision

さいたま市とともに笑顔あふれる
「日本一のスポーツ先進都市」を実現します。

スポーツで地域経済を活性化するエンジンになります。

「国際性」「先進性」「持続性」を備えたスポーツフロンティアを創出します。

パートナー企業とともにスポーツ振興の取り組みを行います。

Message

**「もっとさいたまにスポーツを。」を
育む変革と挑戦する団体であり続ける。**

スポーツへの関わり方はみな違います。年齢や性別、国籍、障がい等に関係なく、誰もがスポーツで笑顔になる。そのきっかけを作ることが、わたしたちさいたまスポーツコミッションの仕事です。

わたしたちはスポーツにおけるライフバリューを創造し、ゆたかな未来をつくり、笑顔を広げていきたいと考えます。このために、さいたまクリテリウム等のスポーツイベントの開催や各種大会の誘致や支援、スポーツ施設の運営を行ってきました。これからもスポーツの振興や地域の活性化を進めるべく、これらのイベントや事業を展開していきます。

また、わたしたちの社会は地球環境の変化や高齢化などのさまざまな課題に直面しています。わたしたちは、事業活動を通じてこれらの課題の解決に貢献することが重要であると考えます。さいたまスポーツコミッションは、地域の持続的な発展を目指し、さいたま市やパートナー企業の皆様とともに取り組みを進めていきます。

今後とも、益々の御支援を賜りますようお願いします。

About

名 称 一般社団法人さいたまスポーツコミッション
Saitama Sport Commission(略称:SSC)

所 在 地 〒330-0062
埼玉県さいたま市浦和区仲町4丁目2-20
エコ計画浦和ビル2F

代 表 理 事 遠藤 秀一
設立年月日 2018年12月10日
U R L <https://saitamaspc.jp>

Project

スポーツイベント誘致・開催支援

イベント開催に必要な許認可手続きの調整や助成金の交付など、スポーツイベントの誘致や開催支援を通じて観光や交流人口の拡大を図ります。優れたアクセス、多様なニーズにお応えする施設の存在など、さいたま開催のメリットを活かし、国際大会を含め多くのイベントの誘致実績があります。2018年度の誘致件数38件、参加者総数129,855人。経済波及効果34億7210万円と試算しています。

さいたまーマチ~見沼ツーデーウォーク~

都心からのアクセスが良く、豊かな緑地空間が広がる「見沼田んぼ」の自然環境や地域資源を広く紹介するとともに、自然に親しみ、豊かな心と身体の健康づくりにも寄与するウォーキングイベントが「さいたまーマチ~見沼ツーデーウォーク~」です。開花時期が合えば、散策できる日本一の桜回廊も楽しむことができます。年々参加人数が増えており、2019年3月の第7回大会は、2日間で8,659人が参加。経済波及効果2億6190万円と試算しています。



さいたまランフェス

誰でも楽しく走れるランニングイベント「さいたまランフェス」をさいたま市と共同で開催しています。2021年度は2部門を実施。アプリ内の地図上に示したチェックポイントを回る「オンラインの部」と、埼玉スタジアム2002公園及びその周辺に設定された特設コース「埼玉スタジアムの部」では、ハーフマラソンから、親子ランやチームランといった小学生から大人まで楽しめる種目があります。



※過去の市内大会のもの



TOUR DE FRANCE SAITAMA CRITERIUM

ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム

世界最高峰のサイクルロードレース「ツール・ド・フランス」の名を冠した自転車競技イベント『ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム』は、2019年度までに7回開催しています。クリテリウムは、市街地などに設定された距離の短いコースを周回する形式のロードレースです。その年の夏にツール・ド・フランス本大会で活躍したスーパースター達がさいたま新都心周辺に集結し、日本にいながら本場フランスの興奮と感動を味わえるのが最大の魅力です。会場は複数の駅から徒歩で訪れることができ、大勢の観衆が沿道に詰めかけています。2019年開催では、約106,000人が来場し、経済波及効果は25億2500万円と試算しています。



自転車乗り方教室

「自転車乗り方教室」は、さいたま市の自転車文化醸成、自転車ファン層拡大と利用推進を図る体験型のイベントです。2021年度は、補助輪なしの自転車に乗る練習などを低年齢の子供を対象に市内10か所で開催しました。





スポーツシューレ事業

「スポーツ人材の育成」「持続可能なスポーツ施設の整備」「スポーツビジネス・スポーツ産業の創出・活性化」を図るために、市内に集積するスポーツ施設を中心に宿泊・飲食・研修施設等のネットワークを形成することで、スポーツを「する場」、「学ぶ場」を確保します。その上で、企業、大学、団体等の最新の知見や技術を活用した実証研究などを通じ、スポーツ産業の活性化に取り組みます。

Sフィールド～スポーツ施設の運営～

荒川河川敷に広がる総合運動場「大宮けんぽグラウンド」内の野球場8面、テニスコート10面の「Sフィールド区画」を管理運営しています。スポーツイベント及び合宿等の誘致に利用するとともに、一般利用者に提供しています。



スマイルプロジェクト

競技人口が減少する中学生年代の女子サッカーを支援するため、サッカーを行う女子中学生の活動の場所等を確保するとともに、競技技術の向上、健康に関する助言などを行なっています。



バスケファンプロジェクト

小学生を対象にしたバスケットボール体験教室を開催しています。公園等に設置されているバスケットボールゴールを活用し、一人でも気軽にバスケットボールを楽しめる機会の提供を行なっています。



アバスポさいたま

スケートボード、BMX、インラインスケート、3X3など若者や子どもたちから人気の高いアーバンスポーツの振興を図るイベント等の企画運営を行なっています。



スポーツを科学する生徒の育成

市教育委員会からの委託を受け、「スマート部活動」の指導案構築に関する事業を運営しています。生徒のコンピテンシー（個人的実行力、課題設定力等）の事前・事後の測定、及び「SPLYZA Teams」を導入し、競技力・課題の分析・解決力向上を目的としたICT活用の実証実験に取り組みました。



スポーツチームの運営支援

さいたま市をホームタウンとするプロバスケットボールチーム「さいたまプロンコス」の事務局業務を受託し、運営支援を行なっています。

